

さわやかな汗を流した秋の一日

～市民スポーツ・健康フェスティバル～

10月2日(日)、岡志別の森運動公園と市民プールで『市民スポーツ・健康フェスティバル』(市、文化・スポーツ振興財団主催)が開かれました。

この催しは、スポーツなどを通して市民の健康増進を図ることを目的に開催されています。

さわやかな秋空の下、岡志別の森運動公園では、『市民ソフトボール大会』『駅伝競走大会』『キンボール大会』などが行われ、参加者は家族や友人の声援を受けながら、さわやかな汗を流していました。

市民プールでは、『健康相談』『水中運動教室』『体力測定』などが行われ、子どもたちを対象にした『水中フラッグ競争』や、水中の景品がもらえる宝探しでは、子どもたちが楽しそうに水しぶきを上げていました。

また、日本工学院北海道専門学校しん灸科の学生による『リラクゼーションルーム』も設けられ、丁寧なマッサージが来場者から好評を得ていました。



市民ソフトボール大会



リラクゼーションルーム

惜しまれながら最後の熱戦

～第40回登婦連かあちゃんオリンピック～



9月28日(水)、総合体育館で『第40回登婦連かあちゃんオリンピック』(登別市婦人団体連絡協議会主催)が開かれました。

この催しは、昭和39年の東京オリンピックを契機に、昭和41年からスタート。地域社会で活動している婦人たちが、お互いの交流を図るとともに、楽しく一日を過ごし、健康で明るく豊かな生活を送ることを目的に、毎年行われてきましたが、参加者の減少や高齢化などにより、惜しまれながら今回で最後の開催となりました。

約150人の参加者は、紅白に分かれて、『50^m競歩』『ミス登婦連』『孫の子守り』など10種の競技に参加。繰り広げられる熱戦に、会場から大きな歓声が上がっていました。

豊かな海の恵みに大歓声

～海岸清掃と地引網体験～

10月8日(土)、富浦海岸で『海岸清掃と地引網体験』(登別市子ども地域交流プラザ運営委員会主催)が開かれました。

この催しは、子どもたちに海や自然の大切さを学んでもらおうと、毎年この時期に行われているものです。

この日は、地域の子どもの小学生、その保護者など、約120人が参加。まずまずの天候の下、参加者全員で空き缶やペットボトルなどのごみ拾いに心地よい汗を流した後、地引網体験がスタートしました。

いぶり中央漁業協同組合の協力により、地元の漁師が漁船で入れた網を、参加者が左右に分かれて掛け声を合わせながら引き揚げると、網の中ではチカやウグイなどが勢いよく飛び跳ね、子どもたちから大きな歓声が上がっていました。

